

『適切なケアマネジメント手法～疾患別ケア研修・心疾患編～』に参加して

報告者：居宅介護支援センターかがやきの郷牧野 魚谷 志麻

【主催】富山県介護支援専門員協会 主任介護支援専門員委員会

心疾患編

適切なケアマネジメント手法研修

R6年度より法定研修に導入されています (2回シリーズ)

日時
①令和6年 7月17日(水) 10:00~12:00
②令和6年11月21日(木) 9:30~12:30

※②では担当事例から1事例を選択し、適切なケアマネジメント手法に基づいてアセスメント、モニタリングを行なった結果を報告していただきます

講師
国際医療福祉大学大学院
教授 石山 麗子氏

研修方法 オンライン (講義・演習)

参加対象者
令和4・5年度の富山県介護支援専門員協会主催の「適切なケアマネジメント手法を学ぶ研修 基本ケア編」を受講している方(原則2回とも出席できる方)

○当研修は令和7年度主任介護支援専門員更新研修の受講要件を満たしています

好評です
○今担当している方の支援の良いヒントになりました
○リハビリと栄養はセットでケアを考えることの根拠が理解できました。
○石山先生の講義を受け、どのような支援でも根拠立てて説明することの大切さを改めて学びました

富山県の研修で、本手法の考案者である、元厚生労働省介護支援専門員の石山教授より学ぶことのできるラストチャンスです



令和6年7月17日、11月21日の計2日間、オンラインにて『適切なケアマネジメント手法・疾患別ケア研修』が開催されました。

講師は、本手法の考案者である国際医療福祉大学大学院教授 石山 麗子先生です。

1日目は講義編で、適切なケアマネジメント手法の基本ケアの確認、循環器疾患の動向等について学びました。すべての高齢者に対して行う『基本ケア』は、生活基盤を整えるケアであり、該当者に対して行う『疾患別ケア』は、『基本ケア』とセットで使用していきます。

救急搬送での急病の疾病分類では脳疾患や心疾患が占める割合が高く、中でも心疾患は死亡が多く命に直結する疾患であることがよくわかりました。私たちケアマネジャーも死と隣合わせであるという緊張感をもって、利用者の生活支援の観点からどう悪化を防いでいくか、いかに早く予兆に気づき搬送、対応ができるか、多職種協働でみていきたいと思いました。

2日目は、担当事例から1事例選択し、適切なケアマネジメント手法に基づいてアセスメント、モニタリングを行なった結果をグループで報告し合いました。やはり適切なケアマネジメント手法は『基本ケア』がベースにあり、そこから見落としていた支援に気づくことが多くありました。

また『疾患別ケア』のシートを使用することで、多職種で共通の認識をもつことができ、家族への情報提供の仕方も変わった等、より適切なケア、支援につながったとの報告もありました。

今後も、始まったばかりの『適切なケアマネジメント手法』の理解を深めるとともに、実践しながら、多職種とともに活用ができるよう力をつけていきたいと思ひます。

